

新刊案内

水辺の プレイフルインフラ

子どもが
遊びを通じて
自ら学ぶ

建設技術研究所国土文化研究所 編 子どもの水辺研究会 著
池田駿介・内田伸子・木下 勇・仙田 満 監修

水辺の プレイフルインフラ

子どもが
遊びを通じて
自ら学ぶ

建設技術研究所国土文化研究所 編
子どもの水辺研究会 著
池田駿介・内田伸子・木下 勇・仙田 満 監修

技報堂出版

「プレイフルインフラ」とは、人間の生活や産業活動の基盤を形成する「インフラストラクチャー (=インフラ)」に対して、子どもたちが遊びを通じてワクワク・ドキドキしながら、自ら学び成長していく「プレイフル・ラーニング」の要素を加えたものであり、いわば子どもの遊びや学びを育む社会的な基盤を意味しています。本書は、フィールドとして川を選び、子どもを主人公に据えて、インフラのあり方について研究を行った成果を取りまとめた、画期的な書籍です。

定価 **2,420 円**
(本体2,200円+税10%)

A5判・240頁(オールカラー)
ISBN978-4-7655-3481-9

問い合わせ先



技報堂出版 <http://gihodobooks.jp/>

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-2-5 TEL 03-5217-0885 FAX 03-5217-0886

ご注文書は裏面にあります

子どもが遊びを通じて自ら学ぶ 水辺のプレイフルインフラ

目次

① いま、子どもたちに起きていること

- 1-1 日本の子どもたちのいま
- 1-2 影を潜めた外遊び、このままでいいの？
- 1-3 世界の取り組み

② 川づくりのあゆみと子どもたち

- 2-1 川づくりのあゆみ
- 2-2 川と子どものつなぎ目に存在する悩み

③ 子どもの遊びと学び

- ～人間発達における遊びの意味と意義～
- 3-1 子どもの学力と家庭の経済事情の関連
 - 3-2 遊びを通しての学び
 - 3-3 子どもの発達における探究・発見・創造のすすめ
 - 3-4 子どもの資質や能力を映し出す「ことば」の力

④ 子どもの遊びの空間

- 4-1 子どもにとっての遊びの意味
- 4-2 遊び場の型
- 4-3 原風景と遊び空間
- 4-4 遊びやすい空間の構造～遊環構造～
- 4-5 緑・水辺空間の持つ意味と役割

⑤ 水辺で芽生える「子どもの生きる力」

- 5-1 水辺遊びではどんな能力が育つのだろう？
- 5-2 発話の調べ方
- 5-3 記録した発話の概要
- 5-4 水辺遊びは「生きる力」を育てていた！
- 5-5 水辺で出会ったあんな子ども、こんな子ども
- 5-6 子どもが遊び、学ぶ水辺の形
- 5-7 子どもが利用しやすいまちなかの水辺とは？
- 5-8 子どもたちが生き生きと遊ぶ水辺

⑥ 子どもが輝くプレイフルインフラ

- 6-1 プレイフルインフラとは
- 6-2 プレイフルインフラとしての水辺空間の特徴
- 6-3 プレイフルインフラとしての水辺が備えるべき要素
- 6-4 まちと水辺をつなぐプレイフルインフラ
- 6-5 プレイフルインフラと大人の足場かけ

⑦ 子どもが安心して遊べるように

- 7-1 川遊びのリスクマネジメント
- 7-2 災害時の身の守り方～逃げ地図～

⑧ 子どもたちの遊ぶ水辺

～私たちからの五つの提案～

■お近くの書店にこの注文書をお持ちください。 ■オンライン書店からも、お求めいただけます。

ご注文書	子どもが遊びを通じて自ら学ぶ 水辺のプレイフルインフラ		ISBN978-4-7655-3481-9	注文部数	(メモ欄)
	定価 2,420 円 (本体 2,200 円 + 税 10%)			部	
	お名前		(法人の場合は所属とご担当者名)		
	法人名				
ご送付先 〒					
お電話					技報堂出版

